沖小だより

【学校教育目標】
◇明るく　じょうぶな子
◇よく考え　工夫する子
◇仲よく　助け合う子
◇ねばり強くやりぬく子

【重点教育目標】
かかわり合い
つなぎ合い
伸び合う子

令和６年　２月２９日
第　11　号
北斗市立沖川小学校
北斗市清川５９５番地
TEL（０１３８）７３－２３８１

沖川小学校ホームページ　https://hokuto.ed.jp/okisyo/

うるう年に考える時代の変化

校　長　　佐　藤　大　樹

＋10度を超える日があると思えば、真冬日がやってくるという寒暖の激しい毎日が続いています。道南では、相変わらず各感染症に注意が必要な状況ですが、本年度（令和５年度）も残すところ１ヶ月となりました。６年生は卒業に向けて、在校生は進級に向けて最後のまとめに取り組んでいるところです。

さて、今年は「うるう(閏)年」です。先日、給食時間の放送で、本校の教諭が子どもたちにうるう年の説明をしていました。「小さい頃から、４年に１回あるのは知っているけど、詳しい理由まで知らない」という人が多いのではないでしょうか。

現在私たちが使っている暦は「グレゴリオ暦」といい、世界中の国で使われています。グレゴリオ暦法では、うるう年を次のように決めています。

(1)西暦年号が4で割り切れる年をうるう年とする。
(2)(1)の例外として、西暦年号が100で割り切れて400で割り切れない年は平年とする。

地球が太陽の回りを１周するには、約365.24219日かかります。グレゴリオ暦では、１年の平均日数が、この日数に近くなるようにうるう年を入れています。

実は、これでもずれが生じてしまうため「うるう秒」というものがあります。うるう秒は、ずれを０・９秒以内に補正するため１９７２年に導入され、過去に計２７回、世界一斉に実施されました。しかし、時間調整の失敗によるシステム障害への懸念が国際的に高まり、国連の専門機関・国際電気通信連合（ＩＴＵ）の会議は、昨年、うるう秒を原則２０３５年までに廃止するとした決議案を採択しました。今回のＩＴＵの会議の結果からわかることは、地球の公転周期による厳密で正確な時間よりも、今や社会に不可欠なコンピュータの時刻を重要視したということです。いずれは「そんなことをして時間を調整していたんですね」という歴史となってしまうのでしょう。時代によってものの価値や考え方も変わる良い例かもしれません。

時代の社会情勢に適応できる人材の育成は学校が担っている責務の一つです。我々教職員も常に考え方をアップデートしながら子どもたちに最善の教育を提供していきたいと思います。

3月 行事予定

1日(金)　帰宅時刻17:00
4日(月)　ALT　月曜６時間日課
　　P街頭指導⑤（～8日）
5日(火)　卒業式特別時間割開始
　　清掃週間（～15日）
　　<上磯中学校１日体験入学>
6日(水)　ALT　職員会議
11日(月)　ALT　月曜６時間日課
13日(水)　ALT　卒業式総練習　年度末清掃
15日(金)　卒業式前日準備　５時間日課
18日(月)　第115回卒業式
　　PTA退会会員送別式
19日(火)　卒業式後始末　４時間日課
20日(水)　春分の日
21日(木)　４時間日課
22日(金)　修了式・離任式　３時間日課
23日(土)　学年末・学年始休業（～4/7）

帰宅時刻は17:00です。

３月～４月の帰宅時刻は、１７：００となります。薄暮時や降雪時などは、子どもの安全確保のためにも早めに帰宅するよう、ご指導をよろしくお願いします。

６年生を送る会

２月２２日（木）に、６年生を送る会が行われました。

在校生３人は「今年度沖川小学校に関わってくれた人ビンゴ大会」を企画し、参観の保護者も交えて大いに盛り上がりました。その後に、「大きな古時計」を、リコーダーと鍵盤ハーモニカで演奏しました。

６年生は、自分の趣味について、タブレットを使いながら紹介し、「自分で好きなもの、打ち込めるものを見つけてください。」と、後輩にメッセージを送りました。

全校ゲームでは、在校生と６年生が４種目で対決しました。忖度無しの真剣勝負は在校生に軍配が上がりましたが、６年生の在校生に対する優しさが随所に見られました。

最後には在校生から６年生に心のこもった寄せ書きが贈られました。

６年生はもちろん、在校生にとっても卒業前にまた一つ良い思い出ができたと思います。

楽しかったよ スキー学習

２月９日(金)今年度３回目(最終)のスキー学習に行ってきました。今年は雪が少なく、雪質も「とても良い」状態とまではいかなかったのですが、天気は最高でした。

１回目、２回目は、担任以外の先生に指導をしてもらいましたが、今回は午前中は担任と一緒に滑り、午後からは全員一緒に滑りました。

２年生から６年生まで、それなりの斜度のゲレンデを「安全」で「楽しく」滑ることができるようになりました。子どもの頃に身につけた技術は、大人になってから再開してもベースとして身体が覚えているものです。今シーズンのスキー学習はこれで終了ですが、雪が降る地域に生活していますから、生涯スポーツとして楽しむことができればと思います。